

登録No.
登録名
催吐性リスク
適応疾患
投与スケジュール

S-119
dose-dense Paclitaxel療法
軽度
乳癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ファモチジン デキサメタゾン マレイン酸クロルフェニラミン 生食	20mg/body 16.5mg/body 5mg/body 100mL/body		d1	d.i.v.	30min	ペグフィルグラスチム併用
Rp.2	パクリタキセル 生食	175mg/m ² 500mL/body		d1	d.i.v.	3hr	粘調度高いため、輸液総量の 1.6倍量をDrip-eyeに設定 インラインフィルター (0.2~5μm) 付きルート使用
Rp.3	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	全開	パクリタキセルフラッシュ用
Rp.4	ジースタ皮下注 ボディーボッド	3.6mg/body		d1	s.c.		
Rp.5	生食注シリンジ	1筒/body		d1	s.c.		

1クールの間
標準クール数
最大クール数
休薬期間の規定
投与間隔短縮の規定
その他（副作用・PS規定等）

2週間
4サイクル

PS : 0-1
パクリタキセル投与前H₂blocker、デキサメタゾン、マレイン酸クロルフェニラミン投与
副作用：骨髄抑制、下痢・便秘、末梢神経障害、心毒性、爪障害、脱毛など
パクリタキセル初回投与時、心電図モニター
メンブランフィルター（0.22μm）付きDEHPfreeの輸液セットを用いて投与。
※ペグフィルグラスチム併用（パクリタキセル施行後、24時間以降72時間以内）
更新 2026.2.19ペグフィルグラスチムBSからジースタ皮下注3.6mgボディーボッドへ変更。